

お得感満載です！特定健診・がん検診



公明党
やまぐち けいこ
山口 恵子

その他の質問事項

- ▼ 地域経済の成長と発展について
- ▼ 認知症の予防と支援対策について

◆保育園・教育施設の暑さ対策は急務

問 猛暑が続く夏、子どもたちの熱中症対策をすべきだが対応は。体温調節機能が未熟な小さな子どもほどリフトが高まる。エアコン設置の方針は。

答 保育園・児童館の室温は30度〜37度、学校の3階では33度〜36度で国の基準より高い。熱中症予防に「暑さ指数」を参考に対応した。

問 子どもたちの安全を第一に来年夏までに保育園・児童館に設置したい。小中学校のエアコン設置について考えは。

答 全ての経費は13億円ほど必要だが来年から2カ年計画で整備したい。

◆健康寿命の延伸を

問 市民の幸福感や充実した人生を過ごすためには健康増進の取り組みが重要。公費負担が多い特定健診・がん検診の受診状況は。

答 特定健診は9千197円を500円で受けられ、がん検診は7割〜9割を公費負担している。

問 40〜50歳代の受診率が低く特に男性が低い状況。楽しく取り組める「健康ポイント制度」の創設について考えは。

答 健康づくりが付加価値を付けて地域通貨を創設し還元したい。

◆医療と介護の連携を

問 高齢者の生活は医療と介護が必要となるケースが多い。みとりを含めた支援が必要では。

答 医療と介護の情報共有をして生活支援ができるよう「いきいき手帳」の活用を強化したい。



高齢者の生活支援に活用される「いきいき手帳」

市民の暮らしを守り願いを実現する市政へ



日本共産党
しばた ひろし
柴田 博

その他の質問事項

- ▼ イーゼス・アショア配備について
- ▼ 最終処分場水質の不正行為について

◆地場産センターの運営

問 塩尻市の公の施設として指定管理者制度が導入される地場産センターの運営について、これまでの事業の中には指定管理には適切ではない事業があるのではないか。

答 いずれの事業も地場産業の振興と地域経済の活性化に沿うものであり適切な事業と考える。

◆子どもの貧困について

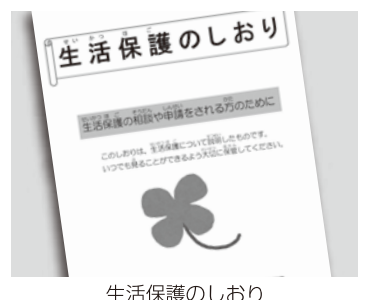
問 子どもの貧困が深刻化している。全国各地で「子どもの生活実態調査」を実施し、対策をとり始めている自治体が増えている。塩尻市、長野県でも実施すべきと考えるが状況はどうか。

答 県では、昨年8月に実態調査を実施しており、本市は世代別に110世帯程度が対象になっている。調査結果から、貧困対策、支援対策の検討に生かしていきたい。

◆生活保護行政について

問 生活保護の相談や申請時に利用する「生活保護のしおり」の内容について、憲法25条や生活保護法に基づく権利であること、資産は全て処分する必要があるのでに記述されていること、高校生のアルバイト収入についての記載がないなど改善すべき点があると考えるがどうか。

答 「しおり」には内容を事細かく掲載できないため、相談員が事情に応じた説明をしている。ご指摘の内容には、説明不足や表現が分かりにくい箇所もあり、見直しを行い分かりやすい「しおり」としていきたい。



生活保護のしおり